

和歌山大学

岸和田サテライト

まちの学びと交流を発信！



浪切ホールで和歌山大学大学院の講義が受けられます。

社会人受講生募集案内

平成21年度(前期)

和歌山大学岸和田サテライト

和歌山大学は、岸和田市と連携して、岸和田市立浪切ホールに「和歌山大学岸和田サテライト」を平成18年4月に開設しました。

同サテライトでは、和歌山大学の保有する高等教育機能を活用し、社会人としてのスキルアップを目的とした科目や地域のニーズに即した科目を開講しています。

講義風景



受講生の皆さんは、
真剣に講義を受けられています。

事務室(2F)



パンフレットスタンド(1F)



さまざまなニーズに応える諸施設 浪切ホールにて 快適に講義を受けることができます。
アットホームな少人数制で先生との距離も近く、ディスカッションしながら楽しく学べます。

フィールドワーク講義風景



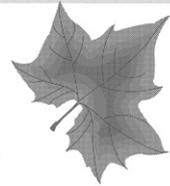
和歌山大学岸和田サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する、大学の地域ステーションをめざしています



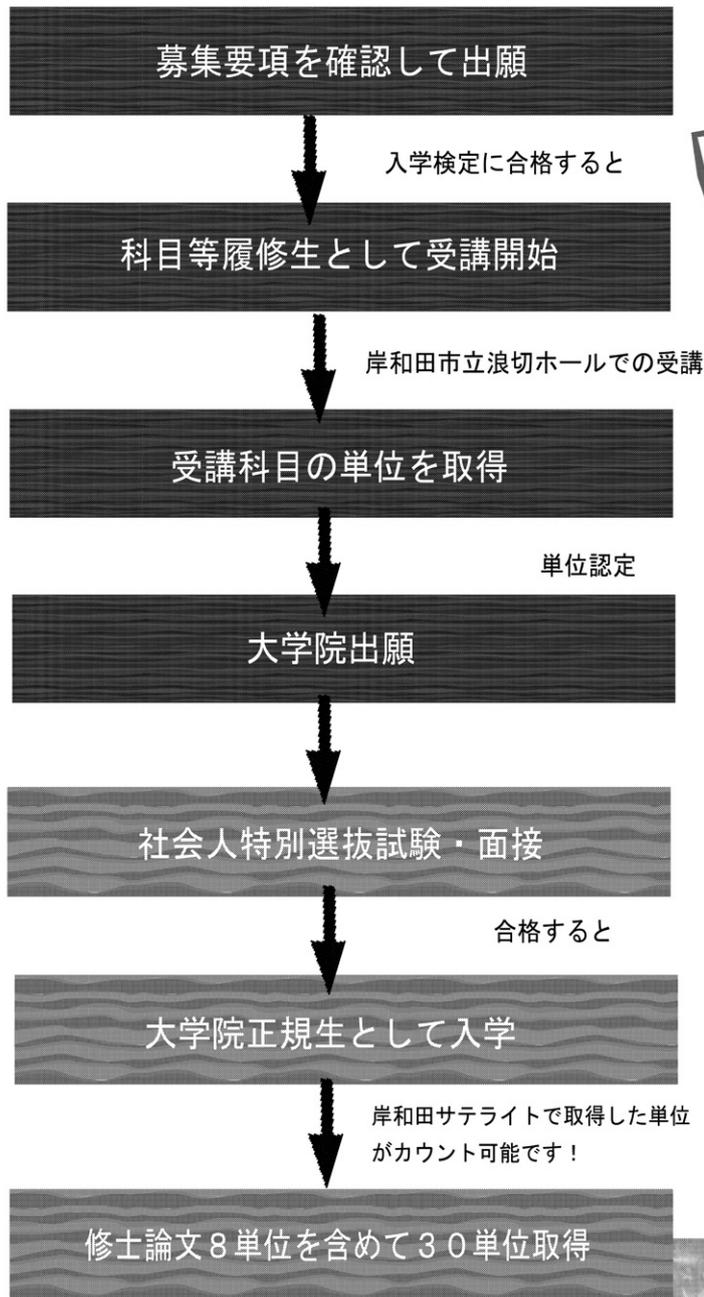
浪切ホールでの講義にとどまらず、実際フィールドへ出て体感することで学習の理解も深まります。



岸和田サテライトの単位認定システム



受講希望者は出願後の入学検定の審査に合格すると科目等履修生になり授業を受講することができます。
受講後、合格評価を得ると単位を取得することが出来、取得した単位は本学の大学院に入学した際に、
同じ専門分野であればすでに取得した単位として認められます。



科目等履修生とは
社会人などで、大学院の授業を受けたい人に対して選考の
うえ科目等履修生として入学し授業を受講していただく制度
です。受講後の成績が合格であった人については単位取得証
明書を発行します。

大学院正規生とは
出願できるのは、大学を卒業した人や学士の学位を持って
いる人などです。入学試験は研究報告書などの出願書類を
もとに面接を行い、学力や問題意識、学習意欲などを総合
的に判断し、合格者を決定します。通常2年間に在学し、修
士論文8単位を含む30単位を取得すれば修了出来ます。
修了すると修士の学位が授与されます。岸和田サテライト
の科目等履修生として取得した単位については大学院入学
前に既に取得した単位として認定（最大18単位）された
ものは上記30単位に含むことが出来ます。



受講にかかる費用について

- 入学検定料 5,000円
- 入学料 10,000円
- 授業料 28,800円（1科目につき）



お問合せ：和歌山大学経済学部教務係

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 (TEL, 073-457-7805)

大学院

科目等履修生の募集について

大学院科目等履修生制度 目的・概要

社会人等で大学院授業科目の履修を希望する人に対し、選考の上、和歌山大学大学院科目等履修生として入学を許可し、受講を認める制度です。成績評価において、「合格」の評価を得た人については単位を取得したことを認定し、希望者には単位取得証明書を発行します。入学後、入学期(入学料を納めた学期)を含む連続4学期間(1年は前期4～9月・後期10月～3月の2学期)内の履修を希望する場合は、入学料・入学検定料は必要ありませんので、授業料のみで受講可能となります。

平成21年度前期開講科目

【経済学研究科】 4科目

『経営史特論 ー近江商人論ー』

『現代の社会政策 ー最近の労働問題を中心にー』

『地域産業クラスター論 ー地域内産業の交流と連携をめざしてー』

『現代日本地方財政論 ー市町村の財政構造を分析ー』

【教育学研究科】 1科目

『初等教育特論A ーこどもの安心安全な生活環境ー』

授業内容・開設日時等

「平成21年度 前期 岸和田サテライト大学院授業科目」参照

募集人数

各科目とも、若干名

入学資格

(1)大学を卒業した者

(2)学校教育法施行規則第70条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

* 入学資格について不安な方は、入学検定料のお振込前に、教務課(TEL.073-457-7106)へお問い合わせください。(お振込後の返金は致しかねます。)

審査及び結果通知

提出された願書及び履歴書等で審査を行い、結果については、入学手続に関する案内でお知らせします。

入学検定料、入学科及び授業料

入学検定料 5,000円 入学科 10,000円 授業料 28,800円 (1科目)

出願書類及び出願方法(新規)

新規に受講を希望する方は、願書(C票/平成21年度入学検定料振込金受付証明書貼付)及び履歴書(最終学歴証明書添付)を下記期限までに出願してください。

*平成20年度科目を受講しなかった方は、平成19年度後期以前に受講歴があったとしても、願書(C票/平成21年度入学検定料振込金受付証明書貼付)及び履歴書(最終学歴証明書添付)を、改めて提出していただく必要があります。ご注意ください。

願書：『岸和田サテライト大学院科目等履修生願書』(用紙㊶)

必要事項記載、捺印、C票/平成21年度入学検定料振込金受付証明書貼付

履歴書：『履歴書【岸和田サテライト大学院科目等履修生用】』(用紙㊷)

必要事項記載、写真貼付、捺印、最終学歴証明書添付

出願期間

平成21年2月20日(金)～3月19日(木)必着

郵送の場合は、「岸和田サテライト出願書類在中」と封筒の表に朱書きし、「配達記録」にて送付してください。出願期間内必着とします。

履修可能期間中の出願

(既に科目等履修生として在学している場合)

既に科目等履修生として履修可能期間中の方が受講を希望されるときは、上記出願期間中に「履修願(科目等履修生)」(用紙㊸)により出願してください。

入学検定料及び入学科は不要です。

出願先(問い合わせ先)

和歌山大学 岸和田サテライト TEL：072-433-0875

〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立「浪切ホール」2F

E-mail：kishiwada@center.wakayama-u.ac.jp

問い合わせ先

和歌山大学 教務課 TEL：073-457-7106 E-mail：kyoumuka@center.wakayama-u.ac.jp

*学部教養科目…前期の開講はありませんが、後期は1科目開講する予定です。

☞ 岸和田サテライト科目等履修生は、栄谷キャンパスおよび紀南サテライトにて開講される大学院科目も履修することができます。

・栄谷キャンパス開講科目およびお申し込みは、経済学研究科へお問い合わせください。

TEL.073-457-7805 egaku1@eco.wakayama-u.ac.jp

・紀南サテライト開講科目およびお申し込みは、紀南サテライトへお問い合わせください。

TEL.0739-23-3977 kinan@center.wakayama-u.ac.jp

・学部教養科目およびお申し込みは、教務課へお問い合わせください。

TEL.073-457-7108 kyoumuka@center.wakayama-u.ac.jp

授 業 科 目	経営史特論 ー近江商人論ー		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	上村 雅洋		
実 施 日 ・ 時 間	4月18日(土) 13:00~17:50		
	5月16日(土) 13:00~17:50		
	6月20日(土) 13:00~17:50		
	7月11日(土) 13:00~17:50		
	7月25日(土) 現地調査		

【講義内容】

近江商人の経営史を中心に講義するが、日本経営史の諸問題、企業者史についても合わせて論じたい。歴史的な把握(動態的把握、因果関係の追究、連続と非連続、実証性の保持)を身につけることを目的としたい。一方的な講義でなく、質問などを交えた自由な討論を行いたい。

具体的には、①近江商人とは何か、②近江商人研究の意義、③近江商人の経営特性、④近江商人の成立条件、⑤近江商人の近代化、⑥近江商人の個別経営をとりあげる。

そこでは、近世社会において活躍した近江商人の合理的な経営とはどのようなものだったのか。どうして革新的な企業家である近江商人が出現したのか。近江商人は近代的な商人に果たしてなりえたのか。現存する伊藤忠商事や丸紅などの近江系企業は、それをどう乗り越えたのか。近江商人における日本の企業特性とは何かなどを考える。すなわち、近江商人の経営における合理性と限界について考えたい。

講義の最後の日(7月25日)には、滋賀県の現地へ一緒に行き、近江商人の足跡を実際に訪ねようと思います。

近江商人は、これまで商魂のたくましさから、特異な目で見られてきた。ところが、最近になりCSR(企業の社会的責任)という視点から近江商人の行動が注目され、近江商人の経営理念の中でも、「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)ということが、いろいろなところで強調されてきた。企業の海外進出が進むにつれ、海外現地での企業行動が、近江商人の出店での商圏や地域住民への対応と比較されるようになった。また、企業のリスク管理が問題とされる中で、近江商人のリスク管理の先進性が脚光を浴びるようになってきた。

一方、滋賀県では、近江商人を地域振興の核にしようとする動きが見られ、近江商人の発祥地では町並みや近江商人の屋敷を保存し、博物館などの施設の充実がはかられるようになってきた。こうした最近の近江商人をめぐる動きを受けて、改めて一緒に新たな近江商人像を探ってみたい。

【テキスト・教材】

こちらで、プリントなどを配布します。

参考図書としては、拙著『近江商人の経営史』(清文堂出版、2000年、¥16,000)があります。

【事前学習】

入門書として、末永國紀『近江商人』(中公新書、2000年、¥740)、同『近江商人学入門』(サンライズ出版、2004年、¥1,200)をあげておきますが、最初の講義で文献リストを配布します。

授 業 科 目	現代の社会政策 ―最近の労働問題を中心に―		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義・演習
担 当 教 員	乗杉 澄夫		
実 施 日 ・ 時 間	4月25日(土) 13:00~17:50		
	5月30日(土) 13:00~17:50		
	6月13日(土) 13:00~17:50		
	7月4日(土) 13:00~17:50		
	8月1日(土) 13:00~17:50		

【講義内容】

現代日本の社会政策のうち、主に労働に関わる問題・施策を基礎から解説し、問題点を議論します。

1. 労働基準と雇用保障
2. 最低賃金と生活保護
3. 石油危機以後の社会政策 ―新自由主義と経済のグローバル化
4. 労働市場の規制緩和と非正規労働
5. 名ばかり管理職と地域ユニオン、雇用保険

授業形態は、講義と演習をほぼ2：1の割合で組み合わせます。講義の一部でビデオを使用します。

【テキスト・教材】

講義要旨と演習のテキストを事前に配付します。参考文献は講義要旨に掲げます。

【事前学習】

講義要旨と演習のテキストを事前に読んで、演習に参加できるよう準備していただきます。参考文献も読んでいただければ、さらによいと思います。

授 業 科 目	地域産業クラスター論 ―地域内産業の交流と連携をめざして―		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義およびフィールドワーク
担 当 教 員	橋本 卓爾・大泉 英次		
実 施 日 ・ 時 間	5月9日(土) 10:00~15:00		
	5月23日(土) 現地調査 (田辺市)		
	5月24日(日) 現地調査 (田辺市)		
	6月27日(土) 現地調査 (岸和田市)		
	6月28日(日) 現地調査 (岸和田市)		
	7月18日(土) 10:00~15:00		
<p>【講義内容】</p> <p>厳しい現状に直面している地方都市や農山村の再生・活性化を図っていくためには、なすべき課題と対策は多々ありますが、やはり基本は産業の確立による経済基盤の拡充・強化です。その際、とくに重視すべきことは地域内にある各産業および関係機関・大学等が交流・連携を深め、連携と集積の利益を実現して行くことです。</p> <p>本講義では、そのための具体的戦略としての「地域産業クラスター」あるいは「地域産業複合体」に関する理論と政策を座学とフィールドワークの両面から学びます。</p> <p>この科目は、岸和田サテライトと紀南サテライトが共同して開講します。講義は両サテライトで 別々に行いますが、フィールドワーク(現地調査)は両サテライトの受講生が一緒になって、岸和田市と田辺市で1回(2日)ずつ行います。交通費・宿泊費は自己負担となります。</p> <p>地域産業クラスターあるいは地域産業複合体の事例として、岸和田市の「だんじり産業」、田辺市の「ウメ産業」をとりあげます。</p> <p>フィールドワークを通じて、両サテライトの受講生がお互いの地域産業について理解を深め、交流を深めることをめざします。</p> <p>【テキスト・教材】</p> <p>橋本卓爾・大泉英次編「地域再生への挑戦」(日本経済評論社、定価2400円+税)を使用します。また講義の際に資料を配布します。</p> <p>【事前学習】</p> <p>テキストは、和歌山県での産業づくり・地域づくり・人づくりを考察したものですが、あらかじめ読んでおいていただければ、講義・フィールドワークの効果が高まります。フィールドワークの詳細については、最初の講義でお知らせします。</p>			

授 業 科 目	現代日本地方財政論 ―市町村の財政構造を分析―		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	河音 琢郎		
実施日・時間	5月28日(木) 18:00~20:30		
	6月4日(木) 18:00~20:30		
	6月11日(木) 18:00~20:30		
	6月18日(木) 18:00~20:30		
	6月25日(木) 18:00~20:30		
	7月2日(木) 18:00~20:30		
	7月9日(木) 18:00~20:30		
	7月16日(木) 18:00~20:30		
	7月23日(木) 18:00~20:30		
	7月30日(木) 18:00~20:30		

【講義内容】

この講義では、日本の基礎自治体である市町村を主たる対象として、第1に、地方財政制度の基本的な仕組みについて学びます。その上で、第2に、個々の受講生に具体的な市町村を特定してもらい、その市町村の決算カードを基に財政分析を行うことで、市町村財政分析の基本的な手法を実践的に身につけます。第3に、今日の日本の市町村が抱えている諸課題について、この間、国によって進められてきた地方財政改革との関係に重点を置いて、考えていきます。

具体的には、以下の3部構成で講義を進めていきます。

第1部(第1回~第4回)：日本の地方財政制度の基本的仕組みとその歴史

まず、市町村の財源構成(収入の構造)、国と市町村との財政関係、市町村財政の使われ方(支出の構造)、特別会計や公社、第3セクターなどの財政、といった、現在の日本の地方財政の基本的構造とその特徴について学びます。その上で、現代日本の地方財政の特徴がどのように形成・展開されてきたのか、その歴史の変遷について学びます。

第2部(第5回~第7回)：市町村財政分析の実際

それぞれの受講生に、財政分析を行ってみたい市町村を特定してもらい、その市町村の決算カードに基づいて、市町村の財政分析を実践的に行ってもらいます。

第3部(第8回~第10回)：現代地方財政の改革課題

「平成の大合併」と呼ばれた市町村合併、いわゆる「三位一体の地方財政改革」、自治体財政健全化法など、近年国によって進められてきた地方財政改革について解説した後に、これらの諸政策の影響に重点を置きながら、現代日本の地方財政の抱えている諸課題と改革の展望について、考えていきます。

【テキスト・教材】

大和田一紘『習うより慣れろの市町村財政分析―基礎からステップアップまで』自治体研究社、2007年、ISBN：9784880374925、¥2,100(税込)

そのほか、参考書については、講義の最初に指示します。

【事前学習】

第2部の講義では、実際に自治体の決算表を基に財政分析に挑戦してもらうので、できればパソコンのエクセル(表計算ソフトウェア)の使用になれていただければありがたいです。パソコンの使用が苦手という方も、講義の中で個別相談にのり、適宜対応しますので、あまり気にせずに受講してください。

授 業 科 目	初等教育特論 A ―こどもの安心安全な生活環境―		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	赤松 純子・本村めぐみ・山本 奈美・今村 律子		
実 施 日 ・ 時 間	4月18日(土) 10:00~17:00 (本村・赤松)		
	4月25日(土) 10:00~17:00 (山本・赤松)		
	5月16日(土) 10:00~17:00 (山本・赤松)		
	6月13日(土) 10:00~17:00 (今村・赤松)		
【講義内容】			
<p>教材研究の視点として教材およびその周辺分野に関する知識・技術も、特に学力向上や基礎学力の定着を目指す場合、大きな武器になると考える。そこで「こどもの安心安全な生活環境」を中心にすえて、教材の中核と周辺部に関する知識・技術の習得をめざし、3つの内容を手がかりに教材研究能力および副教材開発能力の向上を図りたい。</p> <p>こどもの安心安全な生活環境を、「消費生活」の立場から見通しながら、</p> <p>「家族」では、「家族を科学する」</p> <p>「食物」では、「食情報とつきあう」</p> <p>「被服」では、「着ごち」</p> <p>を検討する。</p> <p>教科書に描かれる食卓を囲み「だんらんする」家族のすがた。それは今日を生きる私達にとっての現実か？それとも一つの規範か？あるいは願望や幻想なのか？生涯を生きる上で、人と集って「家族する」意味とは何であるのか。現代家族のありようは一律ではない。刻々と変化している家族の実態を新たな科学的知見から見つめ直し、子どもの感性に伝わる「家族」授業を展開するための視点も含めて提示する。グループ討議、演習なども含めて行う。</p> <p>「食情報とつきあう」では食と健康、食と安全性の2つを取り上げる。「何をどれだけ食べるか」「食べ物の安全性が保証されているか」は安心して健康的な生活を送るうえでの基本となるが、食と健康の関係や食べ物の安全性に関する情報が世の中にあふれている現状では、その情報に振り回され、かえって健全な食生活が脅かされることが危惧される。望ましい栄養や食事のとり方、食べ物の安全性について基本的な知識を踏まえうえて具体的な食情報を検証することにより、その問題点を検討したい。</p> <p>「被服」では、衣生活の安全・安心に関わる事項を取り上げる。学校現場における児童の服装が、生活活動上、安全や健康にどのように関わるかを衣服の形、素材などから学習し、教科内にとどまらず、「小学校における児童の生活全般」を配慮できる教諭の育成に貢献するための基本情報を提供する。</p>			
【テキスト・参考文献】			
授業中に適宜紹介する			
【事前学習】			
特になし			

授業担当教員プロフィール

(五十音順)

赤松 純子

AKAMATSU Junko

教育学部 家政教育
教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—こどもの安心安全な生活環境—

- 研究テーマetc. 家庭科教育・消費者教育を中心とした教材開発 —循環型社会を目指して—
- ・循環型社会における生活環境教育
 - ・学校教育における家庭科及び関連授業内容研究
 - ・社会教育における消費生活・ジェンダーに関わる活動
(研究者及びNPO法人わかやま暮らしふあいど理事長として関係)

○主な授業科目

家庭科教育法 消費生活論 グリーンコンシューマー実習

今村 律子

IMAMURA Ritsuko

教育学部 家政教育
教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—こどもの安心安全な生活環境—

○研究テーマetc.

暑熱および寒冷環境下における種々の衣服がヒトの体温調節反応に及ぼす影響を追究することによって、衣服がヒトの安全性や健康・快適性、運動機能性にどのように関わっているかを明らかにする。また、ヒトの皮脂分析により、衣服の素材やアトピー性皮膚炎との関連を検討している。

○主な授業科目

上村 雅洋

UEMURA Masahiro

経済学部 ビジネスマネジメント学科
教授



岸和田サテライト担当科目

経営史特論

—近江商人論—

○研究テーマetc. 歴史資料による産業発展、商品流通、企業経営、企業家の解明

基本的には古文書などの歴史資料に基づいた経済史、経営史の実証的な研究をしています。日本近世の海運史の研究を通して、近世社会における大量輸送手段としての廻船の果たした重要な役割、非常に合理的な経営などに注目しています。近世社会で最も合理的な経営を行った近江商人の経営手法の解明をしています。近江商人の共同企業、経営戦略、雇用形態、意思決定、危険分散、利益処分、帳簿組織などについて具体的な事例を通じて分析を進めています。地場産業や企業の歴史、企業家などについても関心をもっています。具体的な歴史資料があれば、時間がかかっても積極的に挑戦したいと考えています。

○主な授業科目

経営史 日本経営史 日本経営史特殊問題

大泉 英次

OIZUMI Eiji

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地域産業クラスター論

—地域内産業の交流と連携をめざして—

○研究テーマetc. 現代都市と住宅産業、金融制度との関係に関する研究

現代の都市開発において住宅産業や金融機関が果たしている役割とその課題について研究しています。

日本の住宅産業や金融機関の研究が中心ですが、欧米諸国との国際比較の研究も行っています。

私の著書から：『土地と金融の経済学』『住宅経済の構造変動』

○主な授業科目

経済政策 都市政策 住宅政策 都市政策特殊問題

河音 琢郎

KAWANE Takuro

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

現代日本地方財政論

—市町村の財政構造を分析—

○研究テーマetc. 現代アメリカの連邦財政構造に関する研究

1980年代のアメリカ財政赤字の巨額化と90年代のその縮小過程に焦点を当て、それと日米経済をはじめとした国際経済との関連を視野に入れながら、今日のアメリカ連邦財政の構造を明らかにする研究を行っています。

著書：『アメリカの財政再建と予算過程』『G・W・ブッシュ政権の経済政策』

○主な授業科目

財政政策

乗杉 澄夫

NORISUGI Sumio

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

現代の社会政策

—最近の労働問題を中心に—

○研究テーマetc.

- 1) ホワイトカラーの仕事がどのようなものであり、そのための知識・能力がどのように形成されるのかを調査・研究しています。
- 2) 公正かつ財政的にも維持可能な雇用保険の制度改革を目指して、失業と雇用政策に関連のある問題を研究しています。
- 3) 歴史的な観点をまじえつつ、労使関係の国際比較研究をしています。

○主な授業科目

社会政策 労使関係論

橋本 卓爾

HASHIMOTO Takuji

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地域産業クラスター論

—地域内産業の交流と連携をめざして—

○研究テーマetc. ①都市と農村との共存に関する研究

②都市農業、中山間地域農業の保全と活性化に関する研究

豊かで、住みやすい地域を作るためには、人間の二大定住地域である都市と農村の交流と共存が不可欠なので、都市と農村の交流・共存についての理論と政策を研究している。また、深刻な状況にある日本農業、とくに都市農業と中山間地域の農業の再生のための研究を行っている。

著書：『地域産業複合体の形成と展開 —ウメ産業をめぐる新たな動向—』

○主な授業科目

農業経済 地域政策

本村 めぐみ

MOTOMURA Megumi

教育学部 家政教育
講師

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—こどもの安心安全な生活環境—

○研究テーマetc. 生活者の自律、若者や社会人を対象としたシティズンシップ教育

私はこれまで「若者の自立・自律」と家族・親子関係とを結びつけて研究をしてきましたが、現在では、少し対象を広げ、人間発達・生活福祉的観点から、すべての「生活者」がトータルな人生の質をいかに高めようかをテーマに研究を行っています。そうした視点から最近では、①若者や成人の主體的な社会参画(シティズンシップ)に関する調査研究や、②「ひとり親家族」に育つ子ども達の発達保障に関する調査研究を行っています。

○主な授業科目

家族関係学 生活経営学 生活福祉論 生活調査法

山本 奈美

YAMAMOTO Nami

教育学部 家政教育
講師

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—こどもの安心安全な生活環境—

○研究テーマetc. 食品の組織構造に関する研究、家庭科における食教育

食品の調理・加工による食感(テクスチャー)の変化と組織構造との関係について検討しています。実験材料として、これまでに野菜、豆類、鶏肉を取り上げました。また、家庭科における食教育にも関心を持って取り組んでいます。

○主な授業科目



新規受講希望者の皆さまへ

新規に受講を希望する方は、先ず、出願書類および入学検定料5千円のお振込が必要となります。最寄りの銀行等にて、必ず付属の指定用紙をご使用のうえお振込ください。ATMでのお振込は不可です。お振込に伴う手数料は、受講申込者の負担とさせていただきます。なお領収書は取扱い金融機関等の振込金領収書をもって替えさせていただきます。

入学選考は、しばらくお時間をいただきますので、あらかじめご了解ください。合格となりましたら、入学金1万円のお振込のご案内と受講科目数に応じた授業料納付書を順次送付致します。(授業料納付書の発送は、講義がスタートしてからになる場合もあります。)

入学検定料・入学金・授業料の返金は致しかねます。入学資格に不安のある方は、入学検定料のお振込前に和歌山大学教務課(073-457-7106)までご相談ください。

*平成20年度科目を受講しなかった方は、平成19年度後期以前に受講歴があったとしても、願書・履歴書・最終学歴証明書を、改めて提出していただく必要があります。
ご注意ください。



新規出願方法について

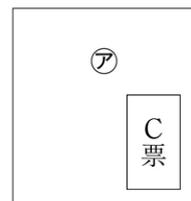
準備するもの

① 岸和田サテライト大学院科目等履修生願書(付属の用紙㉗をお使いください。)

付属の用紙㉗にて入学検定料5千円をお振込後、

C票を願書に貼付してください。

印鑑押印は抜けていませんか?



② 履歴書(付属の用紙㉘をお使いください。)

印鑑押印は抜けていませんか?

履歴書の写真は、きれいに撮れていますか?



③ 最終学歴証明書

最終出身学校の卒業証明書をご用意ください。

*入学金・授業料お振込のご案内は、合格者に送付致します。

履修可能期限内の出願方法について

準備するもの

① 履修願(科目等履修生)

(付属の用紙㉙にてお申し込みください。)

履修可能期限内の方は、入学検定料および入学金は不要です。履修願のみご提出ください。

印鑑押印は抜けていませんか?

② 科目等履修生カードの写し

履修可能期限は科目等履修生カードに記載されています。ご確認ください。

*授業料お振込のご案内は、後日送付致します。

e

出願締切日までに、定員に満たなかった科目については、HPにて追加募集のご案内を致します。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>